

令和2年度 第3回

白石町まち・ひと・しごと創生推進会議要録

日時：令和2年12月28日（月）10：00～11：10

場所：白石町役場 3階大会議室

1. 開会

○総合戦略課長

おはようございます。定刻の10時となりましたので、只今から、令和2年度第3回白石町まち・ひと・しごと創生推進会議を開会します。

会議に入ります前に、資料の確認をお願いします。お手元の、令和2年度第3回白石町まち・ひと・しごと創生推進会議 配布資料一覧をご覧ください。◎と○がございいますが、◎は先週郵送でお送りさせていただいた資料です。○はお手元にお配りしている資料となります。ありますでしょうか、ご確認をお願い致します。

本日の会議でございますが、前回の会議で、第1期総合戦略の検証結果の報告と、第2期総合戦略の事業体系シートの検討をしていただきました。本日は、その結果を踏まえまして、第2期総合戦略の原案を作成いたしております。ご検討いただきたいと思っております。また、人口ビジョンの改訂と、高校生へのアンケート結果の報告をさせていただきます。

役場だけではなかなか気づかないことが多々あると思いますので、委員の皆様のご意見を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

○総合戦略課長

それではお手元に配付しております次第により進めさせていただきます。2. 会長あいさつ。はじめに会長であります副町長より挨拶を申し上げます。

○会長

皆さんおはようございます。本日は12月28日ということで、本当に年末の押し迫った時期に、白石町まち・ひと・しごと創生推進会議、第3回目となりますけれども、ご出席を頂きまして本当にありがとうございます。今年は皆さん方ご案内のように、新型コロナウイルスに振り回された1年となったわけでございますけれども、このコロナ禍によりまして、白石町内でも大きな影響が出ております。感染状況ですが2日前現在で、白石町が佐賀県内で人口に対する感染率が4位ということになってきているということで、感染状況もですけれども、特に経済の落ち込みを心配をしているところでございます。

町といたしましても商工業者をはじめといたしまして、農業者、子育て世代、医療機関や介護施設などに対します支援や負担軽減の施策を行っていくところでございますけれども、外国の方ではワクチンの接種も始まっておりますけれども、まだまだ感染は拡大をしております、収束がいつになるのか全然先が見えないという状況でございます。白石町といたしましても、今後も引き続きさらなる感染防止の徹底と町民の皆さんの生活や経済の支援を考えていかなければならないという風に思っているところでございます。今日これから協議をいただきますまち・ひと・しごと創生総合戦略でございますけれども、これまでの会議を踏まえて、まずは町民の皆さんに白石町は住みよい町とさせていただくことを念頭において、原案を作成しているところでございます。この総合戦略に掲げた目標に沿って若い世代の人口の流出の防止や移住や転入者の増加など町の活性化に取り組んでいくこととなりますので、委員の皆様方のご忌憚のないご意見を頂けますようよろしくお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。本日はどうぞ最後までよろしくお願いいたします。

3. 協議事項

○総合戦略課長

ありがとうございます。それでは次第の 3. 協議事項の方に入らせて頂きます。ここからは会長に会議の議長の方をお願いいたします。

(1) 白石町人口ビジョンの改訂について

○会長

はい、それでは 3. 協議事項の (1) 白石町人口ビジョンの改訂についてに入ります。事務局から説明をお願いします。

○総合戦略課長補佐

私の方から白石町人口ビジョンについて説明をさせていただきます。資料につきましては、白石町人口ビジョンと参考資料をご覧ください。よろしいでしょうか。着座にて説明をさせていただきます。第2期総合戦略策定に伴いまして、白石町人口ビジョンを今年3月に改訂しましたので説明を致します。変更の内容は平成27年11月に策定した人口ビジョンを修正作業を行った昨年度の時点での最新データであります平成27年10月に実施した国勢調査と平成30年3月に公表された国立社会保障・人口問題研究所のデータなどをもとに時点修正をしたものです。時間の都合上、人口ビジョンについては主だったところを説明致しますけれども、追加、削除を含みます修正部分は黄色でマークをしておりますので、後だって確認を頂きたいと思えます。1ページをご覧ください。はじめにと書いてありまして一番下のところです。白石町人口ビジョンの対象期間は令和47年(2065年)までとしております。2ページをご覧ください。人口の動向ですが、黒い文字の1行目です。人口は平成27年(2015年)10月に行われた国勢調査では23,941

人でした。それが国立社会保障・人口問題研究所、社人研と言いますけれども、平成30年（2018年）3月に公表した推計によると令和22年（2040年）には15,868人。令和27年（2045年）には14,299人と15,000人を割り込むと推計されています。年齢3区分別人口は、年少人口、生産年齢人口はともに減少傾向にあつて、老年人口は増加傾向にあります。令和7年（2025年）にはこれも減少に転じると推計されています。その下のグラフでは、赤が全体、年少人口がオレンジ、生産年齢人口が青、老年人口を黒で表しております。そして表全体の色のついていない部分、2015年までは国勢調査の結果、右側の色のついていない部分、これにつきましては2020年以降ということで、国立社会保障・人口問題研究所の推計で表しております。17ページをお願いします。17ページの下のところ。総合戦略で重要な要素であります合計特殊出生率については、表5で示しております。2015年1.60でありました合計特殊出生率は、社人研では2025年1.57、2035年1.58、2045年1.58でほぼ横ばいとされておりますけれども、県の準拠では2025年1.79、2035年1.94、2045年2.07と比較的高く増加傾向で推計されているところです。20ページをお願い致します。真ん中のところです。それに対しまして、本町の合計特殊出生率は、第1期総合戦略と同様、令和22年（2040年）までに1.8、令和42年（2060年）までに2.0。この2.0につきましては1980年代の白石町の実績値です。これを目標として掲げまして、この数値で独自推計をしているところです。21ページをお願い致します。グラフのところですが、社人研の推計が緑、佐賀県準拠が赤、独自推計、これが人口ビジョンとなりますが、紫の線で表しております。その独自推計の2040年のところの数値が16,061人、それが2060年のところで11,137人ということとなっております。前ページの合計特殊出生率とこの数字、これが総合戦略の3ページへ目標として明記をしているところです。この人口ビジョンにつきましては総合戦略に掲げます様々な取り組みなどを行って、この数値を目指すという目標でございます。従いまして、町の最上位計画であります総合計画やその他の計画につきましても、人口推計の部分については参考としていくこととなります。参考資料をご覧ください。参考資料につきましては年齢3区分別の推移のグラフ、世帯数の推計、就業人口の推計、男女別推計を添付しておりますので、これにつきましては後だつてご覧ください。説明については以上です。

○会長

はい、ただいま白石町人口ビジョンの改訂について事務局から説明がございましたけれども、これについては何かご質問ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。それではまた何かありましたら後だつて出していただきたいと思ひます。

（2）高校生へのアンケート結果について

○会長

それでは協議事項（2）高校生へのアンケート結果についてに入ります。事務局から説明をお願いします。

○総合戦略課長補佐

それでは私の方から白石町のまちづくり高校生へのアンケート結果の報告をさせていただきます。資料につきましてはそのアンケート結果というA4の横の資料をご覧ください。このアンケートにつきましては、町内の2高校、白石高校普通科、佐賀農業高校のご協力を得て令和2年11月に実施を致しました。高校の方にこの場を借りてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。回答してもらいましたのは、白石高校普通科350人、佐賀農業高校354人、合計704人です。そのうち白石町出身は、下の表の左側133名で19%となっております。またこの133名は白石町内に住む高校生の約30%となっております。逆に言えば町内の2高校の生徒のうち約8割が町外から、また町内の高校生の約7割が町外の高校へ通っていることがわかります。このアンケート結果についても時間の都合がありますので、主だったところを説明致します。2ページをご覧ください。順番を付けておりませんので、見づらくて申し訳ございません。一番上のところですが、一番上は「通学の手段」を尋ねております。町外を含みます総計ではJRが61%という風になっております。このことから町外の高校へ通っている人もJRを利用されているのではという風に予想をしているところです。その下、白石町からの通学者は自転車70%という風になっております。その下のところですが、「あなたの住んでいる町は住みやすいまちですか」という問いに対しましては、白石町出身の生徒は「住みやすい」、「どちらかと言うと住みやすい」の合計が79%、約8割が住みやすいと答えていただいているところです。一方でその下のところになりますが、「あなたのまちの印象を教えてください」という問いの中で、「電車やバスが便利ですか」と白石町出身の生徒に尋ねたところ、「いいえ」が83%という意見も出ているところです。そのページの一番右下のところ、その他のところですが、「観光地や名所・史跡がたくさんありますか」というところでは「いいえ」が83%、3ページのところの左上のところですが、「商業施設が充実していますか」、「いいえ」が81%、「図書館や美術館が充実していますか」というところで、「いいえ」が74%という結果が出ているところです。4ページをお願い致します。2段目の右側のところになりますが、その他、白石町出身の生徒で多かった意見は、「近所づきあいが多い」、これはいい意味・悪い意味もあるかもわかりませんが、「はい」ということで89%の方が答えて頂いております。5ページの上の方をお願い致します。「自分の住んでいるまちのために何か活動したいと思えますか」という問いをしたところ、「積極的に参加したい」という生徒が白石町21%、「できる範囲で参加したい」69%まで合わせますと90%が参加したいという意見を持っておられるという結果が出ました。その下、「あなたは白石町が好きですか」という問いに対しましては、全体で「好き」、「どちらかと言うと好き」を合わせますと41%、そのうち白石町は「好き」、「どちらかと言うと好き」が69%、約7割が「好き」とい

う結果が現れているところです。7 ページをお願い致します。「これから白石町でやったほうがいい」、「やってほしい」ということをお尋ね致しました。白石町出身の生徒の回答では、43%の生徒さんが「空き家や空き地の有効活用」、そして26%の生徒さんが「大学、高校、企業と連携した地元定着の取組」、29%が「地域（集落）の活性化のための取組」、26%が「都市部等からの移住者の受け入れ」ということでお答えをいただいているところです。この4つが特に白石町は高かったという結果が出ております。この4つにつきましては、これまでも当然取り組んでおりましたが、今後も引き続き取り組むとして、第2期の総合戦略にも明記をしております。また最初にも申しましたが、町外から通っている高校生、町外へ通っている高校生、いずれもJRの利用が多いということもあるので、そのことについても総合戦略では明記をしているところです。8 ページをお願い致します。「将来どのような職業に就きたいですか」という問いには、男子の34%が「公務員」ということで結果が出ております。女子では33%が「医療・介護・福祉」、24%が「流通・サービス・飲食業」と、そういった職業につきたいという結果が出ております。その他、白石町では8%の方が「農林水産業」という風にお答えをいただいているところです。9 ページをお願い致します。「あなたは将来社会人になったらどこに住みたいですか」という問いには、女子の32%が福岡県という風に答えているところです。白石町の17%の方が「現在の住所」としておまして、10 ページをお願い致します。その白石町の生徒の「現在の住所」と答えた人のうち13%がその理由を「地元に着があるから」ということで答えていただいているところです。この地元に着という気持ちは町内2高校に通う人だけでなく、町外の高校に通う人もあられると思います。こういう思いを高める事が将来白石町にそのまま定住するということにつながるのではと考えております。また町外から町内の2高校に通っている人たちには、将来的な関係人口となってもらえる可能性も高いというふうに考えております。そういうことからふるさと学の推進や地元定着の促進として町内2高校との連携した取り組みを行うと、これも総合戦略に書いているところです。説明については以上です。

○会長

ただいまアンケート結果につきまして説明がありました。これについて何かご質問・ご意見等ございましたらお願い致します。

○委員

このアンケートに協力させていただきました。実は白石高校につきましては、佐賀県の地域とつながる高校魅力づくりプロジェクトというもので県のモデル校になっておまして、学校独自で、白石町、大町町、江北町と連携しながら、色々な地域魅力づくりの活動をさせて頂いております。このアンケートの結果につきまして、私どもがまだまだ出来なかったところがございますので、その資料を大いに参考にさせていただきます。来年度までモデル校として白石高校の方はやっておりますので、このアンケートの結果をもとにして、学校側としても白石町の役場だけでなくいろいろな産業界と協力

しながら町の魅力づくりに尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

○会長

どうもありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。何でも結構です。よろしいでしょうか。

(3) 第2期総合戦略の原案について

○会長

それでは、これまでの(1)、(2)を踏まえたところで、次に(3)第2期総合戦略の原案についてに入りたいと思います。それでは事務局から説明をお願いします。

この項目については区切りながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。最初に趣旨や体系図、検証結果などの前段部分を、その後は基本目標ごとに協議をしていきたいと思っております。

それではまず総合戦略の1ページから8ページ、Ⅰ「はじめに」からⅡ「第1期の検証結果・評価及び第2期での改善点等」についてまず事務局から説明をお願いします。

○白石創生推進係長

まず表紙でございますけれども、白石町第2期総合戦略にふさわしい形をイメージして作成してお示ししております。めくっていただきまして、目次が表裏となっております。その次が1ページ第1章「はじめに」となっております。第1章につきましては、1.趣旨、2.総合戦略の計画期間、3.総合戦略の検証・改善・改訂、4.総合戦略の体系図ということで構成をしております。まず1ページの1.趣旨でございます。趣旨の中段のところですが、「今回」というところですが、国が策定した第2期総合戦略の考え方や政策5原則、本町の第1期総合戦略の効果検証結果等に基づき、第2期白石町のまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、住みよい環境の確保と活力あるまちを目指して更なる地方創生の動きを加速させていきます。また、この総合戦略は白石町総合計画の人口問題等に関する個別計画として位置づけ、その他の個別計画及び関連計画との連携を図りながら取り組みます。下の図につきましては、総合計画との関連性やその他の個別計画との関連性及び国・県との関係をまとめたものとなっております。続きまして2ページをご覧ください。2.総合戦略の計画期間です。総合戦略の対象期間は令和2年度から令和6年度までの5年間とします。続きまして3ページをご覧ください。4.総合戦略の体系図でございます。第2期総合戦略は第1期同様に4つの基本目標を設定し、その具体的な施策に取り組むことで、白石町人口ビジョンの将来展望の達成に努めます。今回は基本目標①から基本目標④まで、前回と内容は変更ございませんけれども、言葉のリズムを合わせまして、わかりやすくしたところでございます。また、国の第2期総合戦略とあわせて、横断的な目標を新設しております。「新しい時代の流れを力にする」、「多様な人材の活躍を推進する」となっております。4つの基本目標はこの横断

的な目標を加味しまして、具体的な施策に取り組むこととなります。さらに、SDGsを基本目標毎に掲げております。SDGsとSociety5.0につきましては、新しく出てきた言葉ということで、第1回目の会議の折にご説明をさせていただきましたが、下の方に注釈をつけております。左側の緑色で囲んだ白石町人口ビジョンでございますが、この中で2番目の人口の将来展望のところでは、人口ビジョンでありましたように、人口ビジョンの町独自推計の数値を総合戦略の目標としております。目標人口を令和22年には16,061人。令和42年には11,137人とするということにしております。

続きまして4ページをご覧ください。第2章「第1期の検証結果・評価及び第2期の改善点等」ということで新しく章を新設しております。4ページから8ページまでとなっております。この章につきましては第1期の総合戦略で掲げていた基本目標の施策ごとにそれぞれ2つの表を添付しています。上の表はKPIの数値目標と実績値、下の表は第1期の具体的な施策ごとの効果検証、今後の方針、KPI達成の評価の結果です。効果検証、今後の方針は役場担当部署による検証結果でございます。KPI達成の評価は第1回目の会議の後から8月にかけて、委員の皆様方に効果検証シートにより評価をして頂きました。その結果でございます。具体的な施策につきましては、「進捗している」、「進捗していない」、「一定の進捗」、「目標達成」の4パターンでまとめております。今後の方針は「継続」、「集約」、「変更」、「さらに発展」、「廃止」の5つのパターンでまとめております。KPI達成の評価はKPI達成に「有効であった」、「有効であったとは言えない」のどちらかでまとめております。また各表の上段に文章をつけておりますけれども、これは会議で出された意見や効果検証シートの最後の自由意見に記入していただきました意見などを取りまとめたところとなります。8ページまでの説明は以上となります。

○会長

ただいま1ページから8ページ目までの説明でございました。何かご質問ご意見等ございましたらお願いします。

よろしいですか。それでは無いようでございますので、次に参りたいと思います。ここからは「第2期の基本目標、基本的方向、具体的な施策」ということとなります。総合戦略の9ページから14ページ、前文と基本目標①について入ります。事務局から説明をお願いします。

○白石創生推進係長

それでは9ページをご覧ください。第3章「第2期の基本目標、基本的方向、具体的な施策」です。四角の中の上段でございますが、まずは町民の方に白石町は住みよいまちとっていただけることが、将来的な移住や定住、関係人口の増加につながると考え、町の現状や実態を踏まえた施策に取り組みますということで、この部分を今回新しく追加をしております。続きまして10ページをご覧ください。10ページから14ページまでが基本目標①ということとなります。基本目標①から④まで、それぞれ(1)から(5)

までの形ということでとっております。(1) 目指すSDGsについては今回新しく新設しております。(2) 数値目標、(3) 現状と課題、(4) めざすべき方向、(5) 具体的な施策とKPI重要業績評価指標。このように(1)から(5)までの順番の形で基本目標ごとに記載をしております。先ほど申し上げましたように、第1期の検証結果・評価や国の方針を踏まえまして、KPIの見直し、それに伴う具体的な施策の見直しを行っておりますので、主に大きな変更箇所についてご説明を致します。まず10ページの(2)数値目標でございます。「新規就農者数」5年間で125人。「企業を誘致するための候補地確保」5年間で1箇所としております。(3)現状と課題です。1つ目の○ですけれども、本町の平成29年の社会減による人口減少は221人ですが、年齢階級で見た場合、20歳から29歳の転出超過が195人となっており、若者の町外流出が目立ちます。特に県内他市町や福岡県への転出が多く見られます。次の2つ目の○です。令和2年11月に実施した町内2校の高校生アンケートでは、将来は約50%が「県外」、32%が「県内」、10%が「現住所」に住みたいと回答しています。また将来就きたい職業として「公務員」24%、「医療・介護・福祉」21%、「流通・サービス・飲食業」14%、「製造業・建設業」14%、「農林水産業」4%などとなっています。()内は白石町の在住の生徒の回答です。3つ目の○につきましては前回と同じ内容です。(4)目指すべき方向です。1つ目の○、農業のまちの魅力を引き出していきます。2つ目、高校や大学と連携し地元定着につながる活動に取り組みます。次の3つ目の○です、雇用の確保のため企業誘致するための候補地を確保します。4つ目の○と5つ目の○は前回と同じ内容でございます。続きまして11ページから14ページまでにつきましては、(5)としまして具体的な施策とKPIということで、ここにつきましては前回の会議で検討をして頂きました内容となりますので、説明につきましては割愛をさせていただきます。説明は以上となります。

○会長

ただいま9ページから14ページまでということで説明がございました。これについてご意見ご質問等ございましたらお願いします。

○委員

誘致を目指す企業という話し合いがあったんですけども、最終的にどういった企業をご検討されているのでしょうか。

○総合戦略課長補佐

今現在どういった企業という風に絞ってはおりませんで、今回ここにつきましては、項目を「企業を誘致するための候補地確保」という風に変更しております。まず企業を誘致するための準備に取り掛かるということでしております。そこから始めていって、今後都市計画区域の変更等見直し等を行いますので、その中でどういった企業にアプローチしていくかを検討していきたいというふうに考えております。以上です。

○委員

あったほうが協力できるなと思ひまして。

○総合戦略課長補佐

その時はよろしくをお願いします。

○会長

どういった企業を誘致するかについては、いろいろ町長もあちこちあたりながら、どういった職種がいいのかとか、白石町にどういったものが向いているのかということを検討しております、また皆様方にご相談する機会もあるかと思えます。よろしくをお願いします。

○委員

逆に高校生はどういった職業希望があるのでしょうか。参考に。

○委員

まずは俗にいう会社員という形とサラリーマンのようなオフィスのような感じというのが、工場とかよりは、学校で学んだことを一旦大学に行って、そこで学んだものであれば白石町に住みながらというのがあると思います。もう1つは学校現場もそうですけれども、IT関係がどうしても誘致しやすい所もあるでしょうし、これから先の産業構造の中では生徒の興味は非常に高いかなという風に思います。

○委員

逆にテレワークとかもありますし、IT関係の企業がやっぱりいまから主になっていくということなので、例えば町内でもネット環境とかそういったものの支援とかをできる環境がもっと整えば、これからの時代に適用できるのではないかなと思います。どうしても通勤通学あたりは不便というのはいつも出るんですけども、簡単に改善することは現状難しいので、逆にできることといたらインターネット環境整備なんかを町・自治体も一緒になってやっていけば、子供達も働きやすいし、よそからも来やすいという事にならないかなという風に思っているんですけども。

○会長

何かございましたらお願いします。

○委員

特にどういった企業となると、生徒のそれぞれの興味関心であるとか、そういったところから多様になるところがあるんですけども、やはり最終的に企業を選ぶ時には、待遇面であるとか、福利厚生であるとか、いろんな諸条件で選んでいる傾向にあると思います。本校の場合、データでは県外に希望している生徒さんの数が相対的には多いようですけども、結果的に3年生での進路を見てみると、本校の場合、約7割前後が就職、3割前後が進学といったような統計になっております。就職の7割のうち県内に就職している生徒さんはどれくらいかと言うと、そのうちの大体7割が県内に就職している、3割が県外に就職している傾向があります。その3割のうち、やはり福岡県内に行く生徒さんがやや多いような傾向もあります。進学の場合は3割のうち大体半分ぐらいが県内の大学・短大・専門学校等に進学する傾向がありまして、残りの半分が県外。ただその

多くは、九州内のところに進学する傾向がありまして、結果的に本校の場合3年生の場合は65%程度が卒業後に何らかの形で県内に留まっているという風な状況です。進学した後のその生徒さん達がどういった就職先を選んでいるかというのはこちらでは統計を持ち合わせていないのでそういった状況になっておりますが、いろいろ企業を選ぶ際にはいろんな家庭の条件であるとかそういったところで生徒さん達は選んでいる傾向があると思います。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。それでは先ほど特にネット環境の整備の件についてご意見がございましたけれども、この件について何か総務課からございますか。

○総務課長

ネット環境のことについてのお話が少し出ましたけれども、今の白石町内で光ファイバーが来ているのが白石地域と有明地域、福富地域だけが光ファイバーの整備がされていなかったのですが、今年度の民間の事業になります。福富地域の方にも光ファイバーを整備する事業に着手されるようになりますので一応これで白石町内全体が光ファイバーがひかれるという環境になります。後はこれを民間がどう活かしていかれるのかということになってくるかと思えます。

○会長

はい、何か事務局からもご意見等ございますか。特に先ほど言われたネット環境の整備については総合戦略を進めていくうえでも非常に課題になってくるという風に思えます。総合戦略の項目の中には特別にはあげてないということですが、ただ先ほども言われましたように、非常に重要なことですので、なかなか改訂するというのは難しいかも分かりませんが、どこかに引っ掛けて進めていくという形で考えることは可能でしょうか。

○総合戦略課長補佐

最初に申しましたように、総合戦略は総合計画やその他個別計画、関連計画等と連携して展開をしていくこととなりますので、そういった意味では総合計画とかその他の計画にはその辺が明記されていることになると思えますので、連携して取り組むことになると思えます。

○会長

そういったことで、総合計画と合わせながらIT環境の整備についても考えていくということでの回答ですけれどもよろしいでしょうか。

○委員

1つだけ最後によろしいでしょうか。将来子供たちが就職したり、来るときにネット環境が整備されたところに住めるとか、そういった支援をしていただければどうかと思っております。例えば、地元からまっすぐ就職された方のところにはネット環境をちゃんとしてあげるとか。そこら辺を検討していただければと思います。

○会長

ありがとうございました。他に9ページから14ページまでで何かございませんか。無いようでございますので先に行きたいと思います。次に15ページから18ページ、基本目標②について事務局からお願いします。

○白石創生推進係長

それでは15ページからの基本目標②でございます。(2) 数値目標のところ。「観光入込客数」令和元年の351,465人を令和6年に386,600人とする。もう1つが「移住・定住者数」を5年間で80人ということで掲げております。(3) 現状と課題ですが、1つ目の○です。首都圏等から魅力ある地方への移住希望が増えています。特に若い世代を中心に田園回帰の潮流が高まっており、農業体験、半農半Xなど多様な形で農業に関わることができる環境整備が必要です。2つ目の○です。新型コロナウイルス禍でテレワークなど新しいライフスタイルの変化が起きています。3つ目です。町内では空き家や空き地が増加しています。4つ目です。有明海沿岸道路や道の駅白石は本町への新しい人の流れを作る起爆剤となる可能性を秘めています。(4) 目指すべき方向ですが、ここで3つ目の○です。空き家・空き地を活用し、移住者が住みやすい受け入れ体制を作ります。1つ目、2つ目、4つ目の○につきましては前回と同じ内容です。16ページから18ページにかけまして、(5) 具体的な施策とKPIでございますが、ここは前回の会議で検討をしていただいた内容となりますので説明は割愛をさせていただきます。説明の方は以上となります。

○会長

ただいま15ページから18ページまでの説明でございました。これについてご意見ご質問等ありましたらお願いします。

○委員

移住促進とかの具体的な施策のなかで、空き家・空き地バンクのお試し移住というところの項目があるんですが、これは基本的にお試し移住とかは希望者があってその希望者を待つような体制になっているということですよ。

○総合戦略課長補佐

そうですね。希望者と言いますか、整備ができれば、例えば東京とか大阪での移住定住フェアとかを県とかがおこなっていますけれども、そこに参加して、まずは白石町に1回来てみませんかというお話をしてみたりとか、あと通年でホームページなどで募集をしていきたいと思っております。もうひとつ考えておりますのは、まだちょっと関係課との打ち合わせがよくできておりませんが、本町では農業塾を行っておりますので、いきなり農業塾塾生として入っていただくのではなくて、お試しの農業塾の入校とかそういう方向も考えられるのではないかというふうに思っております。以上です。

○委員

ありがとうございます。ちょっと思ったことがあって、空き家とかそのまま家に住ん

でいただくという形もあるとは思いますが、逆にモデルみたいなものを作ってそこに呼び込む形も必要ではないかというのがちょっと思ったことなんですけれども。空き家の中にも結構立地が良かったり、建物がしっかりした昔からあるいい建物が結構あたりもするので、そこを逆に地元の工務店とかと設計事務所とかがチームを組んで、モデルになる建物とかを何箇所か作って、そこに逆に呼び込むという形も面白いんじゃないかなと思いました。例えばそういう企画をして設計と施工がチームを組んで、何箇所かして、どこが良かったかとか投票してもらったりとかいう風なイベントみたいなものにつなげていくと逆にその観光とかいう風に繋がっていくのではないかなというものもありますし、なかなかメーカーの方に仕事を取られてとか言うこともありますし、なかなか活躍の場も減ってきている、売り込みがなかなかできていないというものもあるんですけれども、そういったところで何か町とかとタッグを組んで積極的にそういう風に打ち出しができるような取り組みも必要じゃないかなと思いました。以上です。

○総合戦略課長補佐

貴重なご意見ありがとうございます。お試し移住については、特に来年度から本格的に考えていこうかというふうに考えておりますけれども、まずはちょっと物件探しとか、そういったことから始めていくのかなという風に思っております。その中で今言っていた工務店さんとか、設計士さんたちとかと一緒にタッグを組んで、モデルルーム的なものを作っていくというのも方法のひとつとして一緒に考えていければと思いますので、その時はご協力のほどよろしくお願いします。

○会長

よろしいでしょうか。他に何かございませんでしょうか。

無いようでございますので、次に行きたいと思います。19ページから23ページ、基本目標③に入ります。説明をお願いします。

○白石創生推進係長

基本目標③、19ページからとなります。(2) 数値目標でございます。「合計特殊出生率」平成30年の1.41を令和6年に1.50としております。それから「子育ての感じ方満足割合(就学前児童親)」41%を令和6年に45%、「小学生の親」につきましては35%を令和6年には40%に引き上げるとしてしております。なおこの子育ての感じ方満足割合の数値でございますが、令和2年3月に策定してあります「第2期白石町子ども子育て支援事業計画」でのアンケート結果を活用しております。(3) 現状と課題です。2つ目の○のところです。本町の合計特殊出生率は1.41で、国の1.42、県の1.64と比較しても低い状況です。なお1つ目、3つ目、4つ目の○につきましては前回と同じ内容です。(4) 目指すべき方向です。1つ目の○、子供の個性を最大限に発揮し次世代を担う人材の育成のため小学校と中学校の再編整備を行い特色のある教育環境を整えていきます。2つ目、3つ目、4つ目の○につきましては前回と同じ内容となっております。20ページから23ページにつきましては、(5) 具体的な施策とKPIということで前回

の会議で検討していただいた内容でございますので本日は割愛させていただきます。説明は以上となります。

○会長

はい 19 ページから 23 ページの説明でございました。何かご質問ご意見等ございましたらお願いします。

○委員

合計特殊出生率ですが、先ほど、白石町人口ビジョン 17 ページで説明していただいたデータとこの数値目標でビジョンを計画するという発言があったかと思うのですが、ここでは数値目標が平成 30 年が実績値で 1.41、令和 6 年で 1.50 となっております。この数値の違いというのはどのように考えたらよろしいでしょうか。

○会長

事務局お願いします。

○総合戦略課長補佐

人口ビジョンでの合計特殊出生率の目標につきましては、この総合戦略の中の 3 ページにもございますけれども、2040 年までに 1.8、2060 年までに 2.0 ということで、その途中の段階ということで令和 6 年につきましては 1.50、2024 年がその途中の過程として 1.50 ということとなります。2040 年には 1.8、そしてその 20 年後の 2060 年に 2.0 を最終目指していきますということです。以上です。

○会長

はい、他にございませんでしょうか。なんでも結構ですが、ございませんでしょうか。無いようですので 24 ページから 27 ページ基本目標④に入ります。説明をお願いします。

○白石創生推進係長

それでは 24 ページからの基本目標④でございます。(2) 数値目標でございます。「地域づくり協議会の設立数」を 5 年間で 8 箇所としております。(3) 現状と課題ですが、ここで 1 つ目の○です。急激な人口減少や高齢化に伴い、地域において担い手不足や伝統文化の継承ができていないなど様々な課題が出てきています。2 つ目、3 つ目、4 つ目の○につきましては、前回と同じ内容となっています。(4) 目指すべき方向ですが、1 つ目の○です。町民協働によるまちづくりとして地域住民が主体となって課題解決に取り組むため、地域づくり協議会の設立を支援します。2 つ目です。地域の各団体やまちづくり団体等とともに地域を盛り上げていきます。3 つ目です。頻発する自然災害に備えるため地域の自主的な組織づくりを推進します。4 つ目と 5 つ目の○は前回と同じ内容です。25 ページから 27 ページまでは具体的な施策と K P I ということで前回の会議で検討していただいた内容となっております。なお、それから一番最後の裏表紙でございますが、今回から町のマーク、町章をつけているところです。説明は以上となります。

○会長

はい、説明が終わりました。何かご意見ご質問等ありましたらお願いします。

○委員

今年も自然災害が多くて、今年に限っては自主避難をものすごく呼びかけられましたよね。それで、色んな社会体育館とか三近堂とかいろいろな所にたくさんの方がおみえになったと思うんですけども、お年寄りの方は座布団とか、長時間地べたに座るのがものすごく苦痛だったとおっしゃっておられて、自主避難をする際には必ずご自分で持ってきてくださいという風に言われてあるにも関わらず、やはり多少なりなんかあるだろうと思われて、何も持たずに行かれた方がそういうふうには不便だったという風におっしゃっていらっしゃる声をちょっと耳にしたので、何か発泡スチロール、ヨガマット、ああいうものが多少なりともあれば避難をした際にも少し軽減になるかなと思ったもので、転ばぬ先の杖ではないんですけども、そういったところの柔らかい面の支援もちょっと考えていかなければいけないんじゃないかなという風に思いましたので発言させていただきました。以上です。

○会長

ありがとうございました。今の件につきましては避難所の運営についてのご意見でございましたけれども、総務課から何かございますか。

○総務課長

今年の台風10号の時に、台風が来る前からテレビとかでかなり勢力が強い台風ということで、皆さんご心配をされて、台風10号の時は最終的には避難所を10箇所設置いたしまして、2,000人近い方、想定を遥かに上回る方が見えられて、役場としても大変バタバタしたところがあって、避難者の方には大変ご不便をおかけしたかと思っております。先程、お年寄りとかにマットとかあればとおっしゃっていただきましたが、実際マットとかの整備をしております。以前から整備しておりました。ただ数的には少なかったものですから、なかなか皆様に、特に高齢者の方に行き渡るように是非したかったのですが、そこまでなかなか手が回らなかったというのが実情でございました。今回、国からのいろんな交付金とかがありましたのでそれを使って、マットを追加して購入したり、折り畳み用の簡易ベッドをもともと持っていたのですが、その数を増やしたり、できるだけご不便をおかけしないようにということで整備を今後もしていきたいと思っております。ありがとうございました。

○会長

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

それでは、他に無いようでございますので、全体を通してこれを言い忘れたなどありましたらお願いしたいと思いますが、無いでしょうか。

はい、それでは他に意見等無いようでございますので、終了後でも結構ですので、疑問等あられたら、また事務局の方に申し出ただければというふうに思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。それでは以上で3.協議事項を終了致します。この後

事務局の方にお返しします。

4. その他

○総合戦略課長

ありがとうございました。それでは、協議事項4.その他に入りたいと思います。まず最初に、第2期総合戦略の公表までの流れについてご説明を致します。

○白石創生推進係長

それでは説明を致します。本日ご審議いただきました総合戦略でございますが、来年年明けまして1月8日に議会へご報告を致します。議会への報告終了後、白石町パブリックコメント手続要綱に基づきましてパブリックコメント手続きを行います。このパブリックコメント手続きとは、町が施策等を定める場合に、その案を広く町民等に公表しまして、町民等から提出された意見・提案等を参考に、意志決定を行い、その検討結果と町の考え方を併せて公表していく一連の手続きのこととなっております。このパブリックコメント手続きの期間を20日間程度設けまして、手続き終了後1月下旬の総合戦略の策定・公表ということで予定をしております。以上となります。

○総合戦略課長

ありがとうございました。このことにつきまして何かご質問等ございませんでしょうか。よろしいですね。

ご意見等無いようでございますので、次に来年度以降のまち・ひと・しごと創生推進会議についてご説明を致します。

○白石創生推進係長

来年度以降の創生推進会議の件でございますけれども、この第2期総合戦略の2ページのところでございます。2ページの3.総合戦略の検証・改善・改訂のところでございますけれども、総合戦略の効果検証及び改善については、基本目標の数値目標や具体的施策に係るKPIの達成度による検証・改善を重ねる仕組みPDCAサイクルを確立し、適切に管理していきます。また効果的な施策の追加が必要な場合などは、柔軟かつ積極的に対応するため、年度途中であっても改訂していきます。こういったことから、毎年年度末に総合戦略の進捗状況の検証などのための会議を予定しております。また来年度策定予定の第3次白石町総合計画との連携・整合が必要となった場合や国や県で新たな施策が追加された場合、総合戦略を改訂する必要がありますので、必要に応じて年度途中の開催を予定しております。以上のことから年に1回～2回の開催を考えております。どうぞよろしくお願い致します。説明は以上です。

○総合戦略課長

このことについてご質問等ございませんか。よろしいですね。ご意見等無いようでございますので、次にお手元に配布しております会議録についてご連絡をいたします。前回10月12日の会議録をお配りしておりますので、お目通ししていただきまして、修正

等ありましたら事務局までご連絡をお願い致します。なおホームページで公表致しますが、その際は発言者の名前は委員とのみ表記を致しまして、個人が特定されないように致します。事務局からは以上でございます。他に皆様から何かございましたらお願い致します。

5. 閉会

○総合戦略課長

無いようでございますので、それでは、次第の 5. 閉会となります。本日は長時間にわたってご協議いただきまして誠にありがとうございます。またコロナ禍という状況にも関わらず、皆様方には総合戦略の策定のために1年間ご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。それではこれもちまして第3回の白石町まち・ひと・しごと創生推進会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。